



公明党千葉市議会議員団 議会報 美浜区版

小さな声を形に！伊藤こうへい通信

令和7年度第4回定例会

～ 令和7年度補正議案など～

令和7年11月25日から12月12日にかけて、第4回千葉市議会定例会が開催されました。

令和7年度一般会計補正予算の追加や各種条例改定に関する議案が提出された他、会派の代表質問も行われ、主な内容とあわせてこれまでの取り組みをトピックスとしてまとめましたのでご報告いたします。

令和7年度一般会計補正予算 ～主な内容について～

補正予算内容

歳入歳出予算の追加や民間保育園等の運営費など、総額50億1,000万円を追加し、一般会計総額5,599億8,100万円となりました。

特別会計補正予算では、総額27億8,300万円を追加されました。

主な内訳として、

- 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 → 貸付金の増額
- 公債管理特別会計 → 市債償還利子の減額
- 病院事業会計 → 新病院整備経費追加、継続費の変更
- 水道事業会計 → 水道管路耐震化事業経費の財源補正



千葉市議会 議場

この他にも、条例の改正議案11件、指定管理者の指定に関する議案28件、公共工事などの契約変更が4件など、多岐にわたる議案が提出され、公明党千葉市議会議員団の代表質問や常任委員会を通じて承認いたしました。

代表質問より一部抜粋

こども未来行政 ～こども・若者への相談支援体制について～

公明党千葉市議会議員団はこれまで、こども・若者支援に関して「子ども・若者総合支援センター Link」や「ひきこもり地域支援センター」の創設、そしてこれらの相談窓口を一本化し、多様化・複雑化するこども・若者の課題解決に取り組んできました。

平成24年8月に Link が開設され、開設当初の相談件数は232件で、その後相談件数も増加し、令和6年では3,090件と増加しております。

平成27年第3回定例会において、Link と共に活動する指定支援機関を設け、相談支援と訪問支援を一体的に行う体制の必要性を求め、現在の体制で事業展開されています。

昨今では、ネット犯罪や被害対策の必要性が求められており、個別かつ専門的な相談対応が必要となっております。

答弁では、「社会生活を営む上で困難を有するこども・若者やその家族を支援するための相談窓口として、「子ども・若者総合相談センター Link」を開設し、関係機関と連携を図りながら対応しているが、ネットやSNSの犯罪やトラブルも含めて困難に直面した時には、一人で不安や悩みを抱え込むことなく、早期に相談・支援につなげることが大切であるため、相談窓口の更なる周知と相談しやすい環境づくりが必要であると認識している。」とのことでした。

今後も、相談員の専門性の向上や訪問支援、出張相談の充実など、相談者のニーズに応じた柔軟な対応に努めて行くことあり、さらなる支援体制の強化を求めました。



千葉市こころの健康センター案内



子ども・若者総合相談センター Link

千葉市子ども・若者総合相談センター【Link(リンク)】

【場 所】 〒261-0003 千葉市美浜区高浜 2-1-16
千葉市こころの健康センター内

【電 話】 050-3775-7007

【受付時間】 月曜日から金曜日 9時00分から17時00分まで（祝日・年末年始を除く）

【相談方法】 1. 電話相談
2. 来所相談（予約制）
※電話で予約が必要です。

【相談申込二次元コード】

※下記二次元コードから入力フォームに相談の概要を入力していただくと、後日相談員が折り返しの電話をします。
※電子メールやLINEによる相談受付は行っていません。



千葉市子ども・若者総合相談センター

特集・皆さんの声が市政を動かす! ~活動トピックス~

循環社会の構築・下水汚泥を活用 ~新たなエネルギー資源に循環・固形燃料化の取り組み~

平成 23 年の第 3 回定例会で、下水道資産約 5,700 億円の効果的な資産管理や長寿命化など施策目標を明確にし、下水道資産の適正な管理などを示す下水道事業中長期経営計画の策定を提案し、現在、着実な下水道経営に取り組まれています。

また、資産の適正管理と合わせて、下水道施設を活用した循環型社会への取り組みについても言及し、下水汚泥を処理する過程で発生する消化ガスを、ボイラーや汚泥焼却炉の燃料として活用することにより、化石燃料である重油の使用量の削減につながるなど、資源の利活用による循環型の下水施設へと転換されています。

全国の下水処理場から排出される温室効果ガスは、CO₂ に換算すると年間約 516 万トンあり、これは一般家庭に置き換えると、約 200 万世帯分に相当します。

令和 3 年度時点で千葉市の下水処理場から排出される量は約 2.9 万トンあり、温室効果ガス削減に対応するため、下水道施設に太陽光発電設備を導入、また、汚泥の固形燃料化施設の整備による新たなエネルギー資源として有効に活用できることを求め、現在取り組みが進められています。

南部浄化センター 下水汚泥固形燃料化事業概要

事業方式：DBO方式

事業期間：令和 5 年度～令和 30 年度（26 年間）

設計・建設業務 令和 5 年度～令和 10 年度

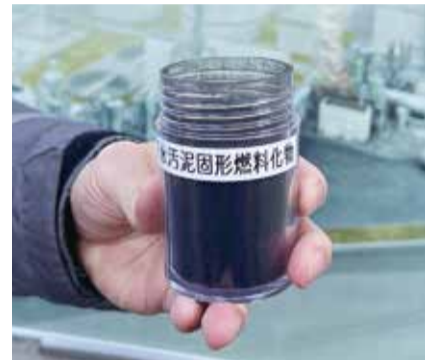
運営・維持管理業務 令和 8 年度～令和 30 年度

施設規模：下水汚泥固形燃料化施設

60wet-t/日×2 炉



公共下水道 南部浄化センター



固形燃料サンプル

農業集落排水事業の統合へ ~公共下水道との統合による事業費削減~

千葉市の汚水処理事業は、市街化区域の大半と一部の市街化調整区域は公共下水道事業で、若葉区や緑区の一部を農業集落排水事業で整備し、これ以外の地域を浄化槽事業で汚水処理が行われています。

この 3 つの処理方式は、省庁が異なることから、国からの予算措置も異なる他、公共下水道と農業集落排水はそれぞれ下水処理場を整備し、浄化槽は、汚泥等のくみ取り運搬施設としてし尿処理場が必要となります。

これまで、所管する省庁が異なることから、それぞれで処理施設を建設してきましたが、これらの同一施設を統合することで、建設コストや維持管理費を圧縮できることから、公共下水道事業と農業集落排水事業を再編することを求め、現在進められています。（浄化槽は既に公共下水道処理場で汚泥を処理している。）処理場を個別で改築更新した場合と比較して、約 5 億 8 千万円の事業費の縮小と、施設再編後には、年間約 4 千 3 百万円の維持管理費の縮減が見込まれます。



農業集落排水事業 野呂処理場

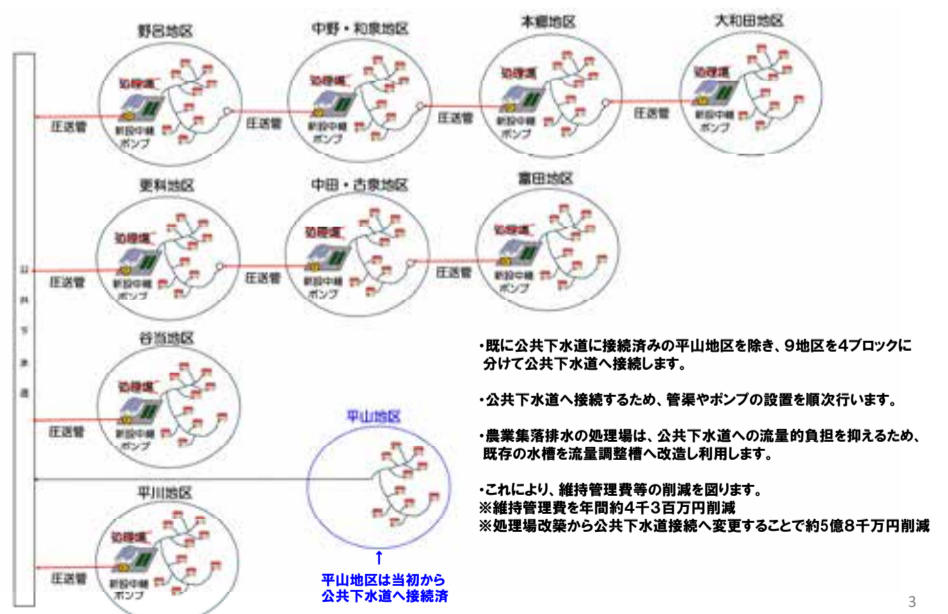
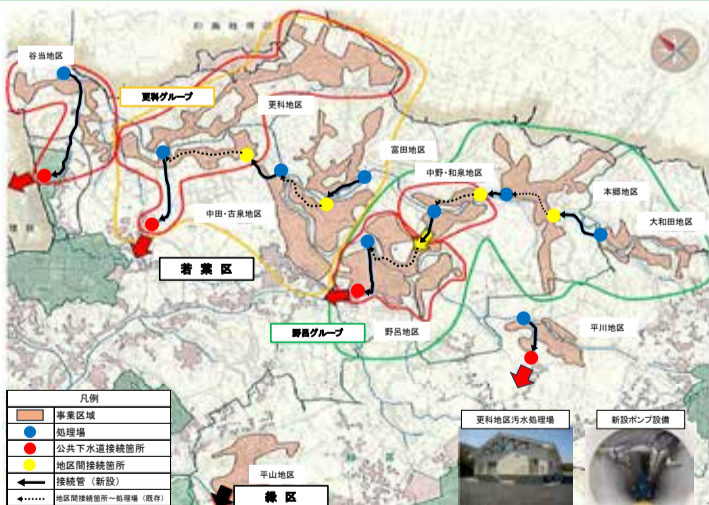


野呂処理場で説明を受ける

農業集落排水施設の再編（目的・意義）

将来的な維持管理費を含む事業費を縮減するため、各地区の処理場を廃止し、公共下水道へ接続する施設の再編を引き続き進めます。

農業集落排水施設の再編（位置図）



市政に関するご意見ご要望をお寄せください。

千葉市議会議員

伊藤こうへい

〒261-0001
千葉市美浜区幸町 2-6-1-408

Tel
070-7667-3094